

## ■お手入れ方法

- シートカバーが汚れた場合は、中性洗剤で汚れた部分のみを手洗いして下さい。
  - シートカバーはウレタンフォームを内蔵しており、一度水分を含むと完全に乾くまで時間がかかります。手洗い後は、出来る限り時間をかけて自然乾燥させて下さい。
- 補足** 丸洗い、洗濯機・脱水機・乾燥機等のご使用は、ウレタンフォームが壊れる可能性がある為ご遠慮下さい。  
樹脂部分が汚れた場合は掃除機などでごみを取り、濡れタオルなどで拭き取って下さい。シンナー・ベンジン等は使用しないで下さい。

## ■お客様へのお願い

- 本装置は自動車事故などの際に、お子様を衝撃から守ったり、衝撃を緩和する事を目的に開発された年少者用補助乗車装置です。ただし、自動車事故などにおいて、必ずしもお子様を無傷でお守りする事が出来るわけではありません。必ず説明書をお読み頂き、安全運転をお願い申し上げます。

## ■緊急時には

- 衝突事故などの緊急時には、あわてずに以下の手順にて対応して下さい。

- ①お車のパックルボタンを押してシートベルトのロックを解除する。
- ②お子様にかかっているシートベルトを取り外し、お子様を本装置から降ろす。
- ③車外の状態を確認した後、安全な場所へ避難する。

- 補足** シートベルトが外れない場合は、シートベルトを切断してお子様を救出して下さい。



### 警告

- ご利用出来る条件に合わないお子様のご使用、取付不可の座席でのご利用、又はご利用上の注意事項を厳守して頂けない場合、生命の危険や重大な傷害が生じる可能性があります。
- 運転中の取り付け・取り外しは、絶対にしないで下さい。

### 補足

- 品質向上の為、予告なく仕様を一部変更する場合がありますのでご了承下さい。
- 本書に記載しているイラストは、わかりやすくする為に現物と多少異なる場合があります。

-----  
キ　リ　ト　リ　線-----

ECE基準適合



# ジュニアシート

## 取扱説明書

保証書  
付

## ■ご使用の前には必ずお読み下さい

1. 本装置は、汎用（ユニバーサル）型年少者用補助乗車装置です。  
本装置はヨーロッパ規格に適合しておりますが、一部の車両にはお取り付け出来ません。
2. 本装置は、3点式巻取装置付座席ベルトを装備している車両にのみ使用できます。
3. ご不明な点は、お買い上げの販売店または（株）シーエー産商にお問い合わせ下さい。

## ■使用できる車両座席ベルトの種類

| ベルトの種類                        | ベルトの特徴                               |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| ELR(緊急ロック式巻取装置)<br>付3点式シートベルト | 通常はベルトが自由に入出しう、衝撃を感じた時だけベルトがロックされます。 |
| ALR(自動ロック式巻取装置)<br>付3点式シートベルト | ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せません。    |

## ■本装置をご使用いただけるお子様の目安

体格差によって異なりますので目安として参考して下さい。

グループ II, III

適応体重 15kg 以上 36kg 以下

●年齢の目安：3歳頃～11歳頃

●身長の目安：95～138cm 以下

- 補足** 本装置を使用する際には、車両シートの背もたれから出ないようにご注意下さい。

## ■本書を読んでいただくためのポイントマークについて



事故にながったり、生命の危険・重大な傷害の恐れがあることを記載しています。



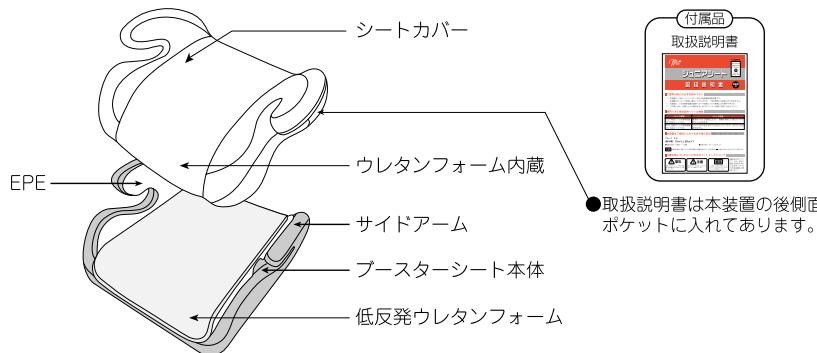
安全のため、ご注意していただきたいことを記載しています。



より安全・快適にご使用していただけ上、知っておいていただきたいことを記載しています。

★左記のポイントマークは、安全に関する内容ですので必ず守っていたいことを記載しています。

## ■構成部品及び各部の名称



## ■取り付けできない車両と座席

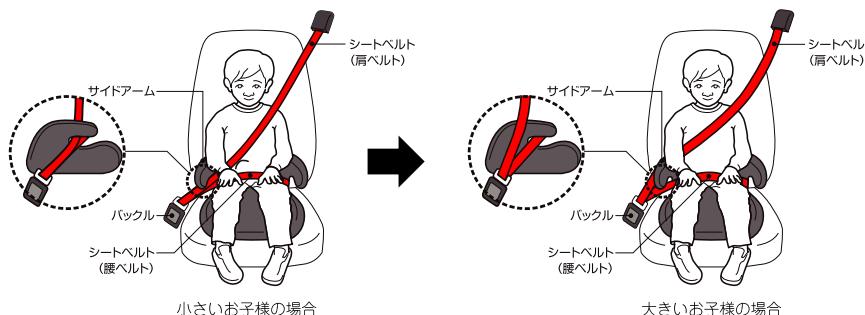


- シートベルトのついていない座席
- 2点式シートベルトの座席（右図参照）
- パッシブシートベルト（自動式ベルト装置）や腰ベルト側にELRが付いた座席
- エアバックを装備の座席（サイドエアバッグのみの場合には使用可）
- 進行方向に対し、後向き・横向きの座席
- 運転に障害になる座席及び前席の中央座席
- スポーツタイプなどの極端に座面が湾曲している不安定な座席
- 奥行き43cm以下の座席
- 可倒式シートの場合、極端に寝かせた状態での使用（右図参照）
- 1BOX車・ミニバンなどの乗降口側の補助席及び後部補助席



## ■ご使用方法

- ジュニアシートはお車の後席で進行方向に対して前向きでご使用下さい。
- 腰ベルトは必ずサイドアームを通してバックルを取り付けて下さい。
- 体の大きいお子様で肩ベルトが正しく肩を通らない場合は、肩ベルトをサイドアームからはずして下さい。



- シートベルトを必ず利用してご使用ください。
- 車両シートベルトの肩ベルトがお子様の首に掛らないようにしてください。

## ■取り付け完了の確認と注意

- ブースターシートの後部と車両シートの背もたれが接している事。
- シートベルトのねじれやたるみがない事。
- お子様の背中が車両シートの背もたれと接するように深く腰かけ、シートベルトが腰骨の位置にくるように正しくセットして下さい。（左下図参照）
- 肩ベルトが極端に首に接していないか、又は肩より下の腕に接していないか確認して下さい。肩ベルトが正しくセット出来ない時は、使用しないで下さい。
- シートベルトが両側のサイドアームの内側に通っているか確認して下さい。
- 車両側のバックルに金具が正しくセットされているか確認して下さい。（カチッと音がしますので確認して下さい。）



### 注意

1. 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないで下さい。
2. 本装置を使用する際、可動式シートや車両のドアに挟まれないように注意して下さい。
3. 衝突事故や本装置を落させたなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外観上の破損がなくても絶対に使用しないで下さい。
4. 本装置の改造や分解は絶対にしないで下さい。又、カバーを取って使用したり指定以外のカバーの使用はしないで下さい。
5. 取扱説明書以外の取付方法は危険です。指定された取付方法で確実に行って下さい。
6. 夏など暑い日の車両は高温になり樹脂部が熱くなります。お子様を乗せる際には、本装置が熱くないか触って確認してからご使用下さい。又、駐車の際は日陰に止めるか本装置にタオルなどをかけ、直射日光を避けるよう注意して下さい。
7. お子様が車内にいる時は必ず保護者の方が付き添って下さい。決して車両に置きざりにしないで下さい。
8. お子様が本装置に座っていない時でも安全のためシートベルトで固定して下さい。衝突時や急ブレーキをかけた時、本装置が移動してケガをする恐れがあります。
9. 衝突の際に傷害を与える可能性のあるものは放置しないで下さい。（衝突時、荷物が移動し危険です。）
10. 本装置の上に立ったり、踏み台には使用しないで下さい。

----- キリトリ線 -----